

連携だより

2号 平成21年9月

当センターの協力医とは

当連携室は、迅速かつ円滑に地域歯科医療機関へ患者紹介できるように、「障害者歯科医療リスト」の作成を行っています。特に当センター個別研修（アドバンスコース）を修了された先生方を対象に協力医として募り、リストより地域での診療や定期健診を希望する患者紹介、症例相談等を障害者歯科医療において、より身近に連携を図ることを考えております。

○協力医への登録方法

アドバンスコースを修了後、医療連携室からアンケート用紙及び協力医申請書を配布



協力医になる場合は、アンケート用紙と協力医申請書をセンターへ送付



協力医証の発行をもって、協力医登録の完了

協力医証見本



協力医の任期は2年間とし、特にお申し出がない場合は自動継続になります。（平成21年4月現在、76名）

○協力医の先生方からのよくある質問 Q&A

Q：「患者紹介したいのですがどのくらいで予約が取れますか？」

A：患者さんのご都合によりますが、1週間以内には確実に取れます。

Q：「紹介を受けた後、智歯抜歯、又は補綴処置のみセンターで診てもらえるか？」

A：治療致しますのでご紹介ください。

Q：「治療・予防継続のまま、摂食・言語指導のみセンターへ紹介を行うことはできますか？」

A：センターで摂食、言語指導のみも可能です。

Q：「診療終了後、センターでの治療経過や患者さんへの対応方法を教えてもらえますか？」

A：「担当医が報告書を作成し、患者さんにお渡しするか、貴院へ郵送します」

****当センターの協力医についてご質問等ございましたら、医療連携室までご連絡ください****

平成 21 年歯科医師・歯科医療従事者集団研修会より

6月14(日) 10:00~12:00

「歯科診療に必要な感染症対策の知識と実践」のテーマで、東京都立駒込病院歯科口腔外科部長 茂木伸夫先生による研修会を実施いたしました。



今回は、安全な診療を行うための歯科診療室における実践的な感染対策として、飛沫感染、交差感染、器具の滅菌・消毒といった内容を中心にお話頂きました。

簡単ではございますが、当日の講義内容の要旨は下記のとおりです。

飛沫感染

飛沫感染は、タービン、エンジンでの形成時や超音波スケーラー使用時に出るエアロゾルが原因で起こります。実際、タービン形成時には、10mm以下の粒子が、バキュームが引き起こす乱気流に乗って5~6mの周囲に飛沫しています。そのため、口腔外バキュームの使用が、飛沫汚染を防ぐのに有効です。

超音波スケーラー使用時には、血液の飛沫量がウ窩切削時に比べて多いため、処置前に患部歯をヨード剤、または塩化ベンザルコニウムにて消毒を行うと、エアロゾル中の細菌数を減少できます。

エアロゾル吸収防止・皮膚面保護 マスク

目の保護

フェイスマスク、
ゴーグル

観血処置時の血液汚染

帽子・予防衣

医療従事者の基本的な飛沫感染対策

交差感染

交差感染は、手指や手袋に細菌が付着したまま器具や機材に触れてしまうことで起きることから、手洗いが重要とされています。手指や手袋に付着した菌は、手洗いで除去できますが、安易な手洗いでは細菌が手指に長時間残ってしまいます。器具・器材は、ディスポにするか一回の治療に必要なものをセットにしておくことと交差感染を起こしにくくなります。

手洗いの消毒剤について

指手検出細菌数	アルコール=クロルヘキシジン
使用時間(短い)	アルコール<クロルヘキシジン
手荒れ(少ない)	アルコール<クロルヘキシジン

アルコール製剤とクロルヘキシジンの比較

アルコール製剤は、クロルヘキシジンと比較して手荒れが少なく、使用時間も短くてすむため手洗い消毒剤として有効です。手荒れが多いと細菌が溜まりやすく、感染の原因となります。

器具の滅菌・消毒

完全な滅菌を行うには、初めに流水で器具に付着した細菌を減らすことが重要です。細菌は、指紋のような油脂で覆われるだけで倍以上滅菌しにくくなり、不十分な洗浄では細菌の一部が残ってしまうこともあります。

薬液による消毒では、次亜塩素酸ナトリウム(ピューラックス®、ハイポライト®、テキサント®)などの薬液の使用が推奨されます。次亜塩素酸ナトリウムは、乾燥するとNa(塩)とO₂(酸素)に分離するため環境に優しい薬液です。

二次消毒としては、オートクレーブで滅菌を行います。

今回の研修で、基本的な感染対策がいかに重要であるか改めて実感することができました。皆様の診療室においてもご参考いただければと思います。

「連携だより」に関するお問い合わせは) 東京都立心身障害者口腔保健センター・医療連携室 担当: 村木
TEL (03) 3235-1141 (代) / FAX (03) 3269-1213
URL <http://www.tokyo-ohc.org>